

令和4年度 国土交通省大臣官房 官庁営繕部総合評価委員会名簿

委員長	角田 誠	東京都立大学都市環境学部建築学科教授
委員長代理	倉渕 隆	東京理科大学工学部建築学科教授
委員	小見 康夫	東京都市大学建築都市デザイン学部建築学科教授
委員	志手 一哉	芝浦工業大学建築学部建築学科教授
委員	林 立也	千葉大学大学院工学研究院創成工学専攻建築学コース准教授
委員	枅川 重男	東京電機大学工学部電気電子工学科教授
委員	松田 雄二	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授

※委員は50音順

令和4年度 国土交通省大臣官房官庁営繕部総合評価委員会
議 事 概 要

開催日及び場所	令和4年4月12日(火) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web形式にて実施	
委員	委員長 角田 誠 東京都立大学都市環境学部建築学科教授 委員長代理 倉渕 隆 東京理科大学工学部建築学科教授 委員 小見 康夫 東京都市大学建築都市デザイン学部建築学科教授 委員 林 立也 千葉大学大学院工学研究院創成工学専攻建築学コース准教授 委員 栢川 重男 東京電機大学工学部電気電子工学科教授 委員 松田 雄二 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授	
審議事項	1. 令和4年度工事の総合評価落札方式の実施方針及び評価方法 2. 令和4年度建設コンサルタント業務のプロポーザル方式等の実施方針及び評価方法 3. 令和4年度審査部会委員の指名並びに審査対象工事及び業務の抽出 4. 令和4年度プロポーザル担当委員の指名	
委員からの意見・質問、それに対する国土交通省の回答等	意見・質問	回 答
	<p>委員長選出等 <input type="checkbox"/>委員の互選により、角田委員が委員長に選出された。 <input type="checkbox"/>委員長代理に倉渕委員が指名された。</p> <p>令和3年度審査部会の報告 <input type="checkbox"/>施工品質の向上やIoT技術の活用にあたっては、効果を定量的に評価することが難しい。</p> <p>令和3年度プロポーザル部会の報告 <input type="checkbox"/>調査案件のほとんどが一者応札であるのは、昨年度と同じ傾向である。昨年度の検討事項となっていたが、状況の改善に向けてどのような取り組みを行ったか。</p> <p><input type="checkbox"/>BIMやAIの活用においては、官庁営繕部としてどのように活用したいか、という方向性を検討したプロポーザルとすることで、より加速的に活用が進むと考える。</p>	<p>提案資料の中で、標準に比べた品質向上効果などの具体的な記載を促すよう、記載要領の充実などを検討していきたい。</p> <p>資料をダウンロードしたが参加表明書の提出がなかった社についてヒアリングを実施した。また、発注情報がより多くの人の目に触れるよう、これまでの媒体に加えて官庁営繕部のHPにおいても公表した。引き続きこれらの取り組みを継続していきたい。</p> <p>検討内容をどのように活用していくのか、という点は意識して発注をしていきたい。</p>

	<p>○カーボンニュートラル等の直近の目標に対しては、官庁施設の基本的性能基準との関係もあるかと思うが、プロポーザルにおいて厳しい数値目標を掲げることがあってもよいと考える。</p>	<p>昨年度末に官庁営繕部の環境関連の基準を改定したため、今後はより高いレベルの提案が出てくると期待している。</p>
	<p>令和4年度工事の総合評価落札方式の実施方針及び評価方法</p> <p>○意見・質問なし</p>	
	<p>令和4年度建設コンサルタント業務のプロポーザル方式及び総合評価方式の実施方針及び評価方法</p> <p>○賃上げ評価について、応募者の負担となり参加者の減少につながらないか。</p>	<p>入札段階では賃上げの表明のみなので、資料作成の負担の増加は大きくないと認識している。</p>
	<p>令和4年度審査部会委員の指名並びに審査対象工事及び業務の抽出</p> <p>○審査対象工事及び業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事 建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各工事種別から2件ずつ抽出した。 ・業務 総合評価落札方式の標準型の事案は無く、抽出案件は無い。 <p>○担当委員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事 建築工事については志手委員（事故があるときの代理として角田委員長） 電気設備工事については柘川委員（事故があるときの代理として倉渕委員） 機械設備工事については倉渕委員（事故があるときの代理として柘川委員） を指名した。 ・業務 総合評価落札方式の標準型の事案は無く、部会は開催しないため、担当委員は指名しない。 	
	<p>令和4年度プロポーザル担当委員の指名</p> <p>○プロポーザル担当委員について 小見委員、林委員及び松田委員を指名した。</p>	
<p>審議結果の内容等</p>	<p>上記審議事項について、委員会資料の説明及び審議の結果、了承された。</p>	